

扉の吊り込み

※イラストは全て右用で記載しております。

1 扉に扉側丁番を、枠に枠側丁番を同梱のネジで取り付けてください。

扉は左右兼用になっていますので、右吊・左吊に注意して扉側丁番を取り付けてください。

上丁番 軸を上げておく φ3.8×24 皿タッピングネジ 軸の先端は8mm程度残ります M5×22 皿小ネジ	中丁番 軸力バーを外し、軸を上げておく ※枠外高2045mm以上のときのみ φ3.8×24 皿タッピングネジ 軸の先端は3mm程度残ります M5×22 皿小ネジ
下丁番 枠側下丁番には上下調整を説明する刻印があります 軸力バーは取り付け済 φ3.8×24 皿タッピングネジ M5×22 皿小ネジ	注意 上丁番の軸力バーについて 上丁番用の軸力バーを同梱しています。扉の吊込時の最後に、上丁番に必ず軸力バーを取り付けてください。(手順は右記②を参照ください) ※中・下丁番の軸力バーは取り付け済みです 軸力バー

注意 軸を上げるときは、強く押し上げると軸が抜ける場合がありますので、ご注意ください。全てのネジを取り付けた後、再度増し締めをしてください。

▼弊社ドアを安全に使えるよう施工するために、扉の吊り込む際は、以下のことを必ずお守りください。

丁番の軸芯が抜けた場合の差し込み方法

軸が抜けた場合は、図のように挿し直してください。軸差し込み後、樹脂リングを回転させてください。

軸差し込み時

ツマミ

樹脂リング※

樹脂リングの穴の位置にも注意してください。

軸差し込み後

樹脂リング※

無理に軸芯を押し込むと軸芯が抜けなくなる可能性があります。

丁番(上丁番・中丁番)の軸と軸力バーの位置関係

【安全】軸がしっかりと下がっている

軸力バーを外した状態

軸力バーを取り付けた状態

軸力バーを取り付ける

軸がしっかりと下がっているため、軸力バーもしっかり下がっている(扉の吊込ができています状態)

※丁番の軸芯が抜けて差し込んだ場合、樹脂リングの穴け位置が図の位置になるようにしてください。

2 扉を枠に吊り込んでください。

丁番の上用・中用・下用を間違えないようご注意ください。最初に下丁番の軸を垂直に差し込みます。

上丁番 手順3	下丁番 手順1 軸力バーは取り付け済 扉側の軸を扉側丁番に合わせて差し込む	中丁番 手順2 ※枠外高2045mm以上のときのみ 扉側の軸を扉側丁番に合わせて差し込む
中丁番 手順2	上丁番 手順3 枠側の軸を扉側丁番に合わせて差し込む	軸力バー 扉の吊り込みが終わったら、上丁番・中丁番の軸力バーを取り付ける ※上下調整のため、下丁番の軸力バーを外した場合は、軸力バーの取り付けを忘れずに行ってください 上丁番・中丁番 下丁番

注意 扉の上下調整を行う場合には、下丁番の軸力バーを外し、調整してください。詳細は裏面をご確認ください。

【危険】軸が全く下がっていない

軸力バーを外した状態

軸力バーを取り付けた状態

軸力バーを取り付ける

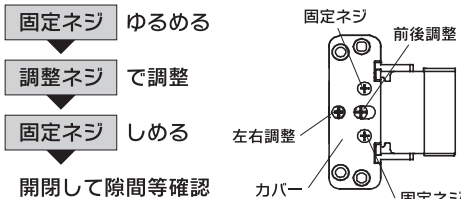
軸が全く下がってあらず、扉の吊込ができていないため、危険な状態

警告 扉が脱落する恐れがあります

警告 上丁番(中丁番)の軸がしっかりと下がっていることを必ず確認してください。

扉を開閉して、扉があたる場合は、調整丁番にて扉の傾きを調整してください。

操作手順



警告

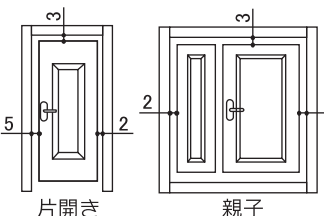
※調整には必ず手動ドライバーを使用してください。

- 固定ネジ、左右調整ネジをゆるめすぎないようにしてください。ネジが抜け落ちる可能性があります。カバーがたわんでいる場合はネジをゆるめすぎているので、ご注意ください。
- 固定ネジは確実に締めつけてください。締めつけがゆるいと使用中に固定ネジがゆるみ丁番が破損したり扉が脱落したりする恐れがあります。

扉と枠の隙間

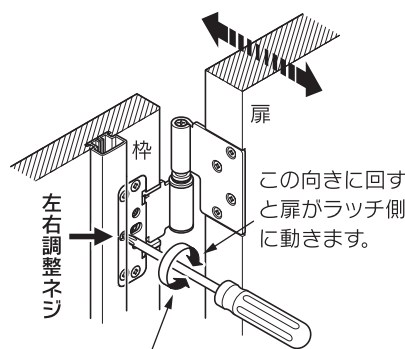
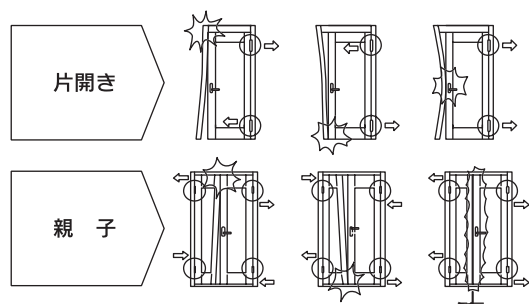
お願い

扉と枠の隙間が右記の寸法になっているか確認し、大きく違う場合は枠の建てつけ調整を再度行ってください。



左右方向の調整 (調整可能範囲 戸先:3mm、戸尻:2mm)

扉を開閉して、扉と枠もしくは扉どうしが下図の位置であたる場合、○印のついた丁番を矢印:⇨の方向に調整してください。

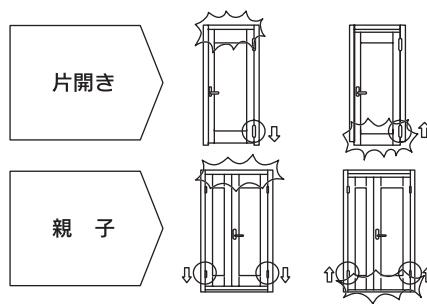


この向きに回すと扉が丁番側に動きます。

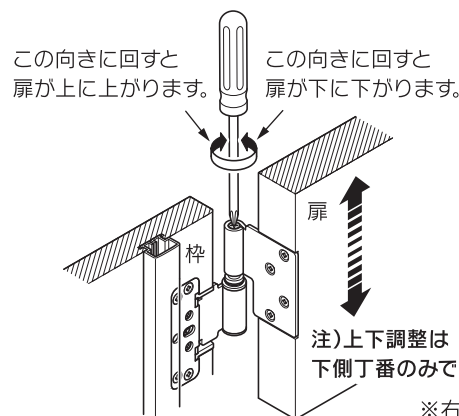
※右吊左吊共通

上下方向の調整 (調整可能範囲 ±3mm)

扉を開閉して、枠とあたる部分が下図の位置であたる場合、○印のついた丁番を矢印:⇨の方向に調整してください。



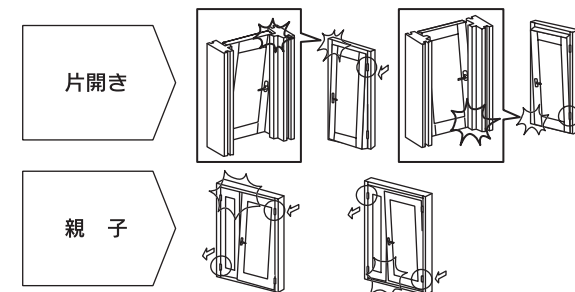
※上下調整は軸力バーをはずして行ってください。



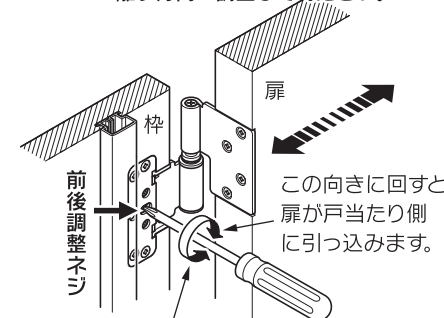
※右吊左吊共通

前後方向の調整 (調整可能範囲4mm) ※出荷状態は戸当たり側に寄っています

扉を開閉して、枠と扉どうしが下図の位置であたる場合、○印のついた丁番を矢印:⇨の方向に調整してください。



- 扉が閉まってくる場合▶上丁番を戸当たりから離し、下丁番を戸当たりへ寄せる方向に調整してください。
- 扉が開いてくる場合▶上丁番を戸当たりへ寄せ、下丁番を戸当たりから離す方向へ調整してください。



この向きに回すと扉が手前に出ます。

※右吊左吊共通

定期的な点検項目

製品の長期間の使用に伴い、部品等が劣化(経年劣化)を生じ安全上支障が出るおそれがあります。経年劣化による重大事故を防止し、製品を長く安全にご使用いただくために、お客様自身による右記の点検を実施いただきますよう、お願いします。

点検部位	点検項目	兆候有無	経年劣化に伴う、具体的な事象
本体・丁番	・扉の開閉がしにくい(扉が枠にあたる)。 ・丁番の止めつけビスに緩みがある。	有・無	・丁番・ヒンジまたはラッチの変形や破損。 ・扉のガタツキ、脱落。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

大建工業株式会社及び大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針(プライバシーポリシー)」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。(大建工業株式会社プライバシーポリシー)に關しましては、当社ホームページに掲載しております。)尚、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただくためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス <http://www.daiken.jp/>

2022.04 現在